

青連協会長対談シリーズ

第6回 醍醐会長と高知県内単位会青連協役員との対談

～ 小規模単位会における青年部会活動について ～

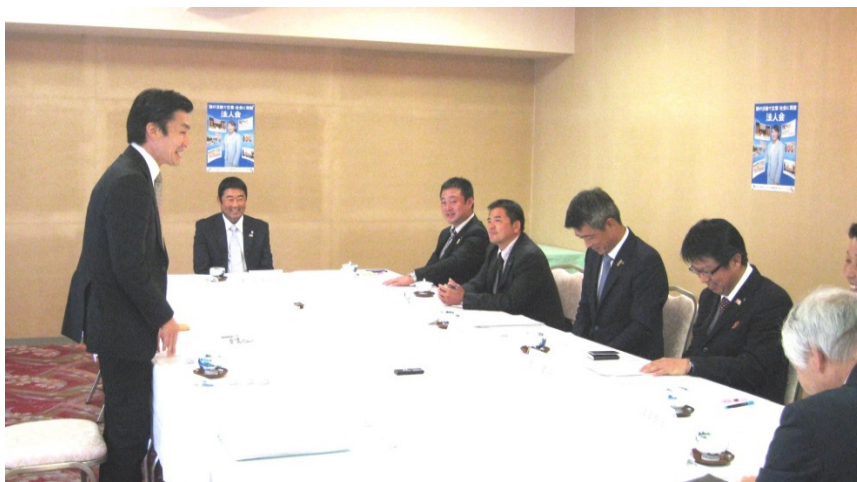
幡多法人会青年部会 弘内 英一郎 部会長
伊野法人会青年部会 西川 健二 部会長
須崎法人会青年部会 竹崎 直樹 部会長
南国法人会青年部会 池田 繁仁 副部会長
安芸法人会青年部会 並村 努 理事（前部会長）
高知法人会青年部会 山本 良司 顧問
※オブザーバー
高知県法人会連合会 伊与木 久春 専務理事

×

青連協
醍醐 正明 会長

日時：平成28年10月28日（金）14：00～15：30

場所：三翠園（高知県高知市）



醍醐

皆さん、本日はお集まりいただきましてありがとうございます。まず、本日の対談の趣旨についてお話をさせていただきます。比較的規模の小さな単位会の青年部会では、少ない人数で活動されていることが多く、活動面でいろいろな課題があるのではないかと考えています。今回、高知県の青年部会役員の方々に現在の活動状況について伺わせていただき、今後、全法連青連協としてどのような支援を行っていくべきかを検討するきっかけにできればと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○ 租税教育活動の現状について

醍醐 最初に租税教育活動についてお聴きしたいと思います。

池田 南国法人会は学校での授業が基本です。ここ数年、子どもたちがより興味を持てるような仕掛けをつくろうと授業内容の工夫にチャレンジしてきました。しかし、そのような授業は、講師の力量に頼る面が多いため難しい課題です。

醍醐 高知法人会では高校でも実施されていますね。

山本 高校からの依頼を受けて実施しています。現在、講師は税理士の方をお願いしていますが、今後は実施する高校を広げていきたいと考えています。

竹崎 須崎法人会でも高校からの依頼により、卒業を控えた3年生を対象に1月に開催しています。講師は高校から指名を受けた青年部会役員が担当しています。租税教育は税務署で開催される租税教室講師研修に最初に参加したときにはとても難しそうだと感じました。それでも、試行錯誤しながら作成したオリジナルの教材を使って小学校で授業をしたところ、子どもたちの反応は非常に良かったですね。実施後の子どもたちのアンケートによると、やはり法人会青年部会の授業が一番面白いという評価を頂き、現在の教材をさらにブラッシュアップしていこうと前向きになりました。

醍醐 租税教育活動は、「部会員増強運動」と並んで青年部会活動の大きな柱と位置付けています。また、今年度より、従来「小・中学生」としていた活動対象に「高校生」を加えることにより、質的な向上を図ると同時により積極的に展開していきたいと考えていますので、引き続きよろしくお祈いします。

○ 部会員増強の現状について

醍醐 続いて、部会員増強について教えてください。

池田 南国法人会は、声掛けが基本です。私は、数年前にJCを卒業しましたが、その時の後輩に声を掛けています。また、知り合いの社長にお願いして、ご子息を青年部会に入れてもらうなど、まずは、身近なところで実際に活動に参加できる人を優先して声を掛けています。今年度は7~8人くらいの実績です。

西川 伊野法人会でも息子さんの世代に入っていただくことが多いです。来年の全国大会を前にして、今がいいチャンスだと思って、役員を中心にローラー作戦のように取組んでいます。今年度は今のところ、15人ほどの実績です。

弘内 幡多法人会では、歴代の部会長がJC卒の建築・建設関係でしたので、従来はその関係の方を中心に増強をしていたようです。今回、来年の全国大会を控えて、400%という高い目標にしているため、部会員が知っている親会会員のご子息に担当を決めて声掛けをしています。今年度は、40数名増えて、75名になっています。

並村 安芸法人会でも、親会の理事の方をお願いして、ご子息に加入していただいています。その他には、比較的声を掛けやすいJCのOB等に声を掛けて、半ば強制的に加入してもらっています。ただ、地域的に離れた郡部の人達に声を掛けるのは難しいため、その点がこれからの課題だと思っています。今年度の実績は、まだ、5人くらいですので、こ

れから大仕事が残っているという状況です。

竹崎 須崎法人会では、私が須崎 YEG（須崎商工会議所青年部）の会長を2年務めていましたので、その関係で3人が加入してくれました。法人会青年部会の役員も今年で6年目になりますので、次の役員候補を作るためにも地道に増強していこうと考えています。今年度は今のところ、6~7人の実績です。

山本 高知法人会では、主に親会名簿の中から青年部会に加入していない企業へ役員が声掛けをする体制をとっています。今年度は15人くらいの実績です。

醍醐 ぜひ目標を目指して頑張ってください。これまで、新規の会員獲得についてお話いただきましたが、新しい部会員にいかにかに定着してもらうかに取り組んでいるところはありませんか。

池田 南国法人会はなるべく定着してくれそうな人に加入いただくようにしています。

並村 安芸法人会では、新入部会員に早めに役割を担当してもらうようにしています。

醍醐 役割が与えられないと自分の居場所ではないと感じてしまい、なかなか定着できないと思います。昨年の青年の集い茨城大会の部会長サミットで「部会員増強」をテーマに「どのように新入会員を獲得するか」や「いかにかに定着させるか」について討議していただきました。その時のアイデアを、全法連青連協のホームページに掲載していますので、ぜひ参考にしてください。

○ 青年部会活動の課題

醍醐 次のテーマに移ります。みなさんは比較的少ない青年部会員数で活動をされていますが、部会員増強や租税教育等の活動で課題となっていることはありませんか。

弘内 租税教育に関して、幡多エリアの小学校の中には生徒数が少ないために5年生と6年生が同じクラスになる※複式学級が多くあります。5年生の時に受けた租税教育の授業を6年生でも受けることになるので、1年前とは違うDVDを放映したりしましたが、大変戸惑いました。このような学校の現状もあらかじめ把握しておく必要性を大いに感じました。また、幡多法人会はエリアが3市にまたがっていて、非常に広い範囲ですので結束が図りづらい面もあります。そのため、役員会も多くて年2回、会員同士の交流会は女性部会と合同で年1回の開催であり、租税教育活動以外で青年部会独自の活動をいかにかに充実させるかが今後の課題だと思っています。

※ 複式学級・・・2つ以上の学年（年齢）をひとまとめにした学級、学級編成のこと

醍醐 幡多法人会は、お隣の香川県よりも広いエリアとお聞きしており、みなさんが一カ所に集まることだけでもご苦労が多いと思いますが、その中で、いろいろと工夫しながら、青年部会活動を充実させていただければと思います。ちなみに、役員会は法人会館などで行っているのですか。

弘内 事務局近くのホテル等の会場を借りています。

竹崎 法人会館という言葉は初めて聞きましたが、都会にはあるのですか。

醍醐 地域によって違うようですが、私の所属する東京法人会連合会の中には随分前に建てられた法人会館を事務局として使用している法人会が多いですね。

池田 南国法人会では、青年部会員数自体が少なく、必然的に租税教育の講師の数も少ない現状です。そのため、同じ人が何度も講師を務めています。新しい講師の育成が課題だと痛感しています。

山本 高知法人会の課題は租税教室の開催時期です。12月が一番多く、その次が1月ですが、私たちが経営者としてすごく忙しい時期ですので、講師を確保するのが大変ですね。

醍醐 租税教育に関しては、やはり、講師をどのように増やしていくのかが課題になっているようですね。部会員の皆さんにより積極的に講師を目指していただくため、全国にはさまざまな研修会を行っている青年部会もありますので、参考にされてはいかがでしょうか。

○ 要望事項

醍醐 最後になりますが、全法連青連協に要望事項はありますか。

並村 アンケート調査システムの件ですが、先日実施されたアンケートの設問が長いと感じました。今後は、より簡潔な設問にすることで、回答者も増えると思いますので、よろしくお願いします。

醍醐 ありがとうございます。参考にさせていただきます。

竹崎 Jタイプの推進の件ですが、私の場合は、2年前に父親にがんが見つかり、ちょうどそのころに副会長になったということもあって、Jタイプに加入しました。既に大型保障制度に加入していて、上乘せでJタイプを検討する部会員が多いため、Jタイプを推進していくことは結構大変だなと感じますが、前向きに取り組んでいきたいと思いません。

醍醐 やはり、その価値をよく理解していただき、会社のリスクマネジメントの一環として、その必要性に納得して加入していただくのが大切だと思います。難しい面もあると思いますが、Jタイプの良さをより多くの人に伝える機会をつくることだけでも結果は違ってくると思います。大同生命もさまざまなかたちで部会活動の支援策を講じていますので、引き続き、ご協力をよろしくお願いします。

山本 全国大会に関して、1年後の本番に備え、実行委員会は並々ならぬ熱意で取り組んでいます。大会を成功させるためには、高知県の青年部会が一致団結することはもちろんのこと、醍醐会長を始め、全法連青連協役員との連携を密にすることが大変重要だと思いますので、引き続き、よろしくお願いします。

醍醐 全国大会を開催することは、とても大変なことだと思います。一方で、一つの県連としてまとまるきっかけとして、これ以上のことはないのではないかと思います。前回の北海道大会でも、広い地理的条件のもとで、どうすれば30の単位会が一つにまとめられるのかを常に考え、創意工夫をしながら準備をされたと聞いています。高知大会に向けても、今後の準備の段階で、さまざまな課題が生まれるかもしれません。それは、こ

れから何か大きなことを始める前のひずみの一つだと思います。そのひずみを大会成功のための肥料にしていいただければ、大会スローガンの案である「絆」がより一層深まると思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

竹崎

全国大会に関して、全国から高知に来ていただく皆さんに、参加して本当に良かったと感じていただきたいと思います。そのためには、大会式典や記念講演等、大会自体はもちろんのこと、物産展やエクスカージョンを通じて、高知の良さを肌で感じていただきたいと思います。全国から多くの方々に参加していただけるよう、全法連青連協からも大いにPRをお願いします。

醍醐

分かりました。全法連青連協としても、全国の青年部会員の皆さんに積極的な参加を呼び掛けていきます。

以 上

(注) この他にも、所属の単位会の状況や税の使途に関する検討等をテーマにした話がありましたが、掲載を省略しています。



<参考：平成28年6月末現在の会員数>

	青年部会員数	親会の会員数
幡多法人会	29	531
伊野法人会	60	465
須崎法人会	70	613
南国法人会	23	591
安芸法人会	23	278
高知法人会	80	3,139
高知県連計	285	5,617